

より良い職場、よりよい社会を目指して 第22回定期大会開催

第16期スタート

10月28日（土）、連合群馬の目指すべき姿「すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現」に向けて、第22回定期大会を開催しました。代議員など280名が出席し、徳江代議員（自動車総連）と島田代議員（情報労連）の議長団【写真中央の右】の進行により、2年間の活動方針、新役員体制を確認しました。

冒頭、富澤会長【写真下】は大会直前に行われた衆議院選挙に触れ、「短い期間の中で野党としての枠組みが構築されず、結果として難しい選挙になった。巨大与党に対抗する健全な野党勢力が必要であることを理解していただきたい。

今後も政権交代可能な二大政党体制の構築を目指していく中で広く社会から共感を得て、働く者・生活者の立場に立った政策実現を目指していかなければならない。新たな政治勢力がどのような党運営や国会の対応を図っていくのか見極め、連合として判断していく」と述べられ、また第16期に向けては、「労働運動の原点である組織化・組織拡大実現に向けて、役員増員や地協機能充実と強化の観点から新たな地協専従体制を確立し、取り組みを強力に推進する。また、ふれあいフェスティバルの在り方論議を加速させていく」と



述べ、さらに活動の土台として「連合運動のフィールドは地域社会にあると感じ、労働組合の力を労働運動の価値として地域社会で示し、発信していくことが重要だと



考えている。このことは組織の中においても労働組合の存在価値を高めることにつながると考える。これらの視点を持って行動していかなければ、労働組合の存在が組合員からも否定されかねないことから、連合運動がもつ価値の発信に今まで以上に努めていきたい」と決意を述べられました。

来賓には大澤群馬県知事の代理として、萩澤副知事、一般社団法人群馬県経営者協会より八木会長、厚生労働省労働局より半田局長、民進党より黒沢群馬県総支部会長がお見えになり、ご挨拶をいただきました。その中で萩澤副知事【写真右】は、「企業においても若年人材の確保や、長時間労働是正で誰もが働きやすい働き方改革の実現に向けご尽力をいただいているが、群馬県においても群馬県総合



計画で新たな雇用創出、女性・若者支援など働きやすい環境づくりなど様々な取り組みを進めている。連合群馬に結集するみなさまのご協力とご理解をいただきながら、取り組みを進めて行きたい」と述べられました。

また、新たに確認された「2018年度～19年度活動方針」は、1000万連合の取り組みを柱に集团的労使関係の構築を目差す『組織拡大・組織強化』、顔の見える運動の強化に向けた『地域に根差した活動』や『労働条件の底上げ』、

『政策・制度要求実現』、『政治活動』など7つの活動領域で構成されています。

第16期の執行部として、富澤会長（電機連合）、新たに山村副会長（JAM）、大西副会長（UAゼンセン）、櫻井副会長（情報労連）をはじめ、副会長5名、事務局長1名、副事務局長6名、執行委員25名を選出しました。また、第15期を以って退任される役員の功績を称え、感謝状を贈りました。



7つの活動項目など活動方針を説明



退任挨拶する小島前会長代行、松本前副会長、飯田前副事務局長

第16期（2018～2019年度） 執行部

会長		副会長					
							
富澤 誠 (電機連合)	山岸 稔 (自動車総連)	佐藤 英夫 (自治労)	山村 康郎 (JAM)	大西 省三 (UAゼンセン)	櫻井 正樹 (情報労連)		
総括	社会貢献・フェスティバル	政策、政治センター	組織強化、地協活動検討、男女平等	組織拡大、ユニオン	雇用労働、非正規支援		
事務局長		副事務局長					
							
高草木 悟 (電力総連)	磯田 孝友 (自動車総連)	栗原 裕司 (自治労)	田村 英樹 (電機連合)	新井 智 (連合群馬)	伊能 耕司 (連合群馬) 高崎地協専従		
事務局総括、財政	政策、政治センター、社会貢献	雇用労働、非正規支援、男女平等	組織拡大、ユニオン	総務・組織運営強化、地協活動、フェスティバル	峯崎 三郎 (連合群馬) 太田地協専従		
執行委員							
新井 康紀	自動車総連	青木 雄次	自治労	木間 裕治	電機連合	鈴木 克幸	JAM
堀越 大司	UAゼンセン	齋木 健志	J P 労組	鈴木 直	基幹労連	萩原 浩二	電力総連
桑原 孝之	情報労連	斉藤 和也	J E C 連合	小宮 勝義	運輸労連	堀口 真明	J R 総連
中野 俊行	日教組	柳澤 孝司	交通労連	高橋 徹	国公総連	沖山 修一	前橋地協
越澤 恭行	高崎地協	福島 孝之	桐生地協	根岸 慎一	伊勢崎地協	飯田 博久	太田地協
斉藤 満	館林地協	鈴木 善徳	西部地協	永井 渉	北部地協	菊池 美穂	女性委員会
唐澤 忍	女性委員会						

特集 青年委員会主催 防災キャンプストーリー

某日 青年委員会

青年委員会ってスポーツ交流、議員との意見交換、男女平等参画、料理教室・妊婦疑似体験とかさ、いろんなことやってきたよね！でも、青年層の交流をもっと深めるためには、宿泊行事で親睦を深めたいよね！念の為に言わせてもらうけど、飲みたいだけじゃないよ。基本はやっぱり、人材育成と仲間づくり！コ(飲)ミュニケーションが大事だよな！（笑）



亀井事務局長
(当時)

さまざま論議した末、青年委員会のイベントは9月の防災月間に合わせ、「**防災キャンプ**」に決定！今回、講師をお願いした日本赤十字社群馬県支部の高野主事には、防災月間の大変お忙しい中、私たちの活動に共感いただき、お越しくださしました！



座学と意見交換だけでは楽しむ要素少ないし。昨年の尾瀬でのレクリーダー研修も良かったけど、体験型が基本だよな。予定している9月は季節も良い。野外活動はどう？防災月間だし、「自分が被災した時や被災地への支援活動などを想定して、防災キャンプ」で参加者が組織や家庭に持ち帰って、防災に繋げて欲しい！…いつか、婚活・合コンイベント、その名も“連コン”!?（笑）もやりたいね！



加藤委員長

やるからには、テントを設営して、寝袋で寝たり、食材の調達・調理は班単位で…いろいろやってみたいことはあるけどな！

まあ、多くの組合員に参加して欲しいから、あまりハードでもね。今回はキャンプ初心者や荒天を考慮して、ロッジを併設しているキャンプ場を会場に検討しますか？

学習の内容は、参加者が大きく印象に残って、組織や家庭に持ち帰って欲しい。早速、検討しよう！



田中副委員長
(当時)

青年委員会主催
場所：宝台樹キャンプ場

男性21名
女性3名

防災キャンプ

9/23 ㊥

- 13:00 ①オリエンテーション（他己紹介）
- 14:00 ②学習「災害への備え」
日本赤十字社群馬県支部 事業推進課 高野里映 主事
- 14:45 ③「救急法講習」
- 16:25 ④「災害シミュレーション」
- 17:00 ⑤飯ごう炊飯・バーベキュー／全体レク

9/24 ㊤

- 7:30 ⑥朝食（非常食体験）
- 9:00 ⑦救急法復習／シミュレーションゲーム



1日目

①オリエンテーション

まずは2日間の流れを説明。
まだ表情が硬いですね（笑）



昨年のリーダー研修で“最優秀企画”に輝いた「一筆書き伝言ゲーム」で雰囲気づくり。

②学習

地震による被害例より、普段から建物の耐震性・家具の転倒防止などで被害を抑える。災害が落ちてから復興までは、自分のことは自分で備える。「自助」の力を高める！公的な支援が受けられるまでは助け合い、いのちを守り、暮らしをつなぐ備えを忘れない。「共助」の力を高める！

③救急法講習

三角巾を使った手当や毛布を使った患者の搬送方法について体験。



④災害シミュレーション

これまで学んだことを踏まえて実践。被害者の確認など優先順位の付け方や、実際の救助や手当を行ってみる。意外と動揺して、近くにいた助けやすい被害者から救助してしまう。

全体を見て状況判断するリーダーが必要だと実感した！



⑤飯ごう炊飯&バーベキュー

飯ごうでご飯を炊きます。薪に着火する方法を伝授。中には薪にライターの火をつける人もいましたが、無事にご飯も炊けて交流開始。レクの成果もあって最初の緊張感からは、うそのように盛り上がります。



2日目

⑥朝食！

保存食（缶パンとアルファ化米）を試食。おっ、以外に美味しい。



⑦災害対応シミュレーションゲーム

コミュニケーション研修や防災学習に役立つ、神戸市消防局が作成したカード型の教材でグループ学習。



最後に

研修を通じて参加者より、「災害時には情報処理能力や相手に正確に伝える能力を併せ持つ必要があることを学んだ」「一人の力だけでなく複数人が協力することで迅速に対応ができることを実感した」「単組ではなかなかできない体験ができた！」など、さまざまな意見をいただきました。次回はもっとPRして、多くの方に青年委員会の活動に参加をしていただきたいと思います！





すべての人にディーセント・ワークを!

高崎で270名結集!



10月2日、高崎ハローフォーラムにおいてディーセント・ワーク世界行動デー群馬県集会在、産別や地協、議員懇など270名の参加により開催しました。

はじめに松本副会長（当時）より「最低賃金近傍で働く人たちが経済的に自立し、人たるに値する生活ができるよう、早期に最低賃金を適正な水準へ引き上げよう」と宣言があり、続いて構成組織を代表し、群馬県教職員組合・栗栖副委員長から「日本全国で教員が過労死ラインを超えて働いており、先生方は悲鳴を上げている。先生方の危機的状況を、連合

群馬に結集する仲間の皆さんにご理解いただきたい」と訴えました。また、議員懇を代表して三森前橋市議からは「働き方改革が進められている中、『過労死』の報道が後を絶たない。会社文化を変え、ライフスタイルを見つめなおすことが必要だが、このこ



とは政府主導ではない私たちの手で変えていくことが重要であり、地方政治の場でしっかり取り組んでいく」と力強いアピールがありました。最後に、女性委員会の菊池副委員長から「働く者の命と健康を守るために今何が必要か。また何のために労働基準法を改正するのか。本当に長時間労働を是正するつもりがあるのか、疑問を持たざるを得ない制度の改悪や創設には断固反対である」との集会アピールが採択され、ディーセント・ワークの重要性、必要性の認識を深めました。

連合群馬に寄せられる労働相談から見ても、残念ながら人としての生活さえままならない状況で働いている方がいます。日本で、世界で「すべての人にディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）」ができるよう、個々の意識を高め、みなさんで取り組んで行きましょう。

連合群馬に寄せられる労働相談から見ても、残念ながら人としての生活さえままならない状況で働いている方がいます。日本で、世界で「すべての人にディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）」ができるよう、個々の意識を高め、みなさんで取り組んで行きましょう。

全国一斉

労働相談ホットライン

知っていますか36協定? ~適正な協定で長時間労働、不払い残業を解決しよう!~

「月100時間以上残業している…」「会社都合で突然残業を命令される…」「残業代がもらえない…」など、多くの企業で、法律で定められた最低限のルールすら守られていない実態が明らかになっています。こうした問題の解決には**適正な36協定（時間外労働や休日労働に関する協定）**の存在が不可欠! ということで、連合では全国一斉で相談を受け付けます。

ご自身の職場の点検はもちろん、お困りの方がいらっしやいましたら、ホットラインをご紹介します。



12/14(木)・15(金)
受付10:00~19:00



0120-154-052

秘密厳守
相談無料

スマホ・携帯・公衆電話からでも繋がります

働く仲間の声を国政に!

10月10日公示、22日投開票で実施された「第48回衆議院議員総選挙」は、民進党と希望の党の合流に伴い、連合が連携してきた民進党の予定者が選挙戦直前での政党間における話し合いの結果「希望の党」「立憲民主党」「無所属」から立候補、といった戦いを強いられました。連合群馬としても、一昨年6月に推薦を確認した3名の候補予定者が、「希望の党」「立憲民主党」に分かれるという、大変難しく、厳しい選挙戦となりました。また、推薦候補者3名に加え、5区から社会民主党公認候補をこれまでの連携を踏まえて『支援』とし、4候補の当選に向け取り組みを展開しました。その結果、選挙区は惜敗となりましたが、3区の「長谷川嘉一」氏が北関東ブロックでの比例復活となる初当選を果たしました。みなさまの多大なるご協力に感謝いたします。

選挙区	候補者名	政党名	結果	得票
1区	宮崎 岳志	希望の党	落	71,569
3区	長谷川 嘉一	立憲民主党	比当	67,456
4区	不破 弘樹	希望の党	落	36,167
5区	高橋 宣之	社会民主党	落	14,008

「安心して働きたい・暮らしたい国」
【今期は結成30周年を迎える期】

連合群馬は早くも16期を数える。
2019年12月28日で丸30年、30歳となります。

「平和・幸せ・道開く」との大会スローガンを掲げ、勤労者の生活環境を向上させるため、また、我々の求める「政策を実現させるため」大同団結を行い、「顔合わせ・心合わせ・力合わせ」との思いで、一歩一歩進めてきました。

結成当時は、40産別11万5千人でスタートし、15万連合群馬を目指して働く仲間の結集に取り組んできました。

しかし、現状では、思うように組織拡大も進まず、連合群馬の目標、2020年に12万5千人は、進捗率は77.1%と大変厳しい状況にあります。

そのような中、第16期は、組織拡大に力点を置き、活動を進めるために副会長を4名から5名体制に強化しました。また、地域協議会を含め組織全体の強化を行うべく、「地協新専従体制」を確立し、北毛（前橋・北部地協）西毛（高崎・西部地協）、東毛（桐生・伊勢崎・太田・館林）の各エリアに専任の専従者を配置して、各地協の平準化と底上げをはかっていきます。

連合運動を推進するためには、産別・地協・県連合が一体となり力を最大限発揮する必要があります。連合運動への参加にとどまらず「積極的な『参画』をお願いいたします。」

「三つべき」とは言い、決まったからにはしっかりとやり抜く。そんな連合群馬にしたいと思います。
(新井)